

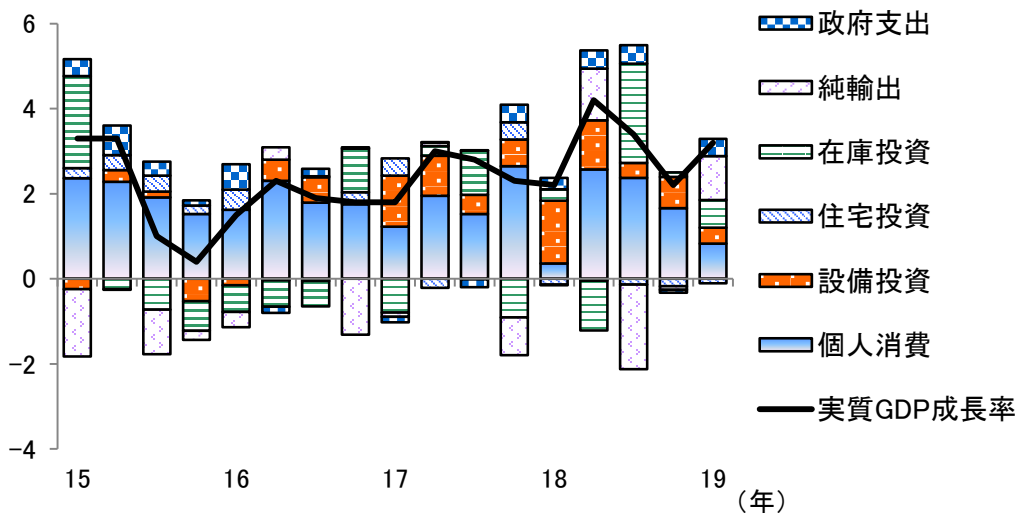
# アメリカ経済グラフポケット (2019年5月号)

2019年5月9日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター 上野 まな美  
経済調査部 シニアエコノミスト 橋本 政彦

## 実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



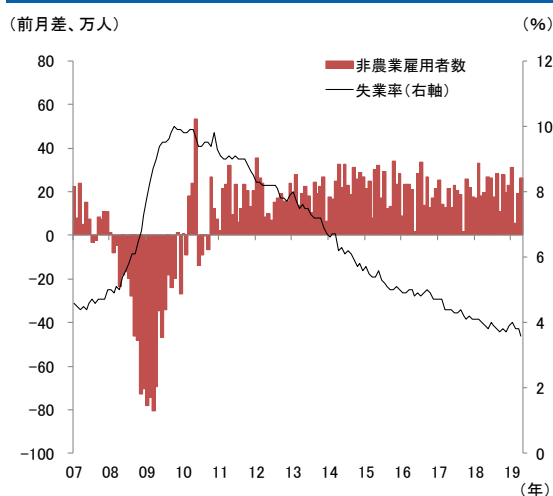
(前期比年率、%、%pt)	2017			2018				2019
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
国内総生産	3.0	2.8	2.3	2.2	4.2	3.4	2.2	3.2
個人消費	2.9	2.2	3.9	0.5	3.8	3.5	2.5	1.2
設備投資	7.3	3.4	4.8	11.5	8.7	2.5	5.4	2.7
住宅投資	-5.5	-0.5	11.1	-3.4	-1.3	-3.6	-4.7	-2.8
政府支出	0.0	-1.0	2.4	1.5	2.5	2.6	-0.4	2.4
輸出	3.6	3.5	6.6	3.6	9.3	-4.9	1.8	3.7
輸入	2.5	2.8	11.8	3.0	-0.6	9.3	2.0	-3.7
寄与度								
個人消費	2.0	1.5	2.6	0.4	2.6	2.4	1.7	0.8
設備投資	0.9	0.5	0.6	1.5	1.2	0.4	0.7	0.4
住宅投資	-0.2	0.0	0.4	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1
在庫投資	0.2	1.0	-0.9	0.3	-1.2	2.3	0.1	0.7
政府支出	0.0	-0.2	0.4	0.3	0.4	0.4	-0.1	0.4
輸出	0.4	0.4	0.8	0.4	1.1	-0.6	0.2	0.5
輸入	-0.4	-0.4	-1.7	-0.5	0.1	-1.4	-0.3	0.6

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

## 雇用環境<sup>1</sup>

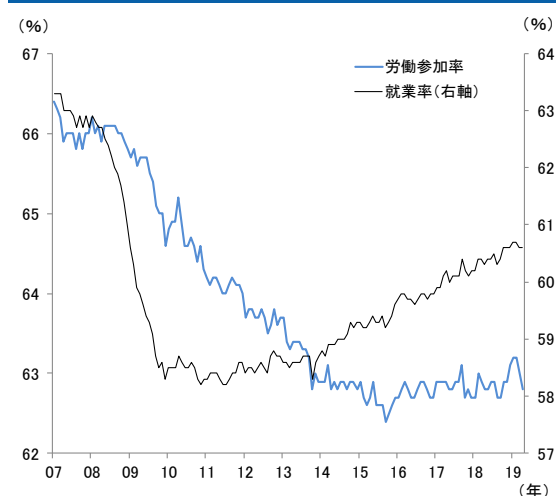
- ◆ 4月の失業率は3.6%と前月から0.2%pt低下し、1969年12月以来の歴史的低水準を記録した。
- ◆ 4月の非農業雇用者数の前月差は26.3万人増となった。雇用者数の増加ペースは2ヵ月連続で拡大し、2019年1月以来の増加幅となった。
- ◆ 非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は20.7万人増となった。好調の目安とされる20万人を上回る底堅いペースでの増加が続いている。

### 非農業雇用者数と失業率



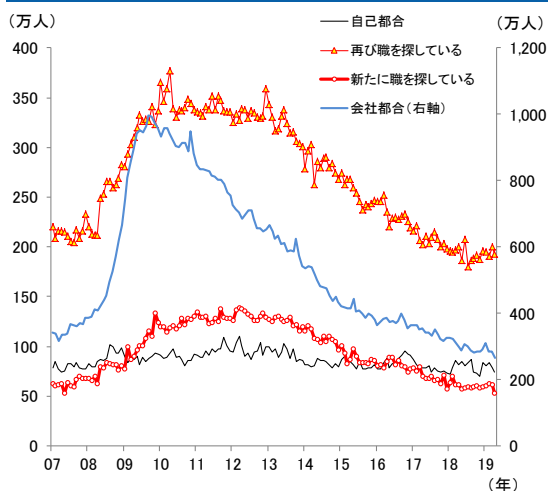
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 労働参加率と就業率



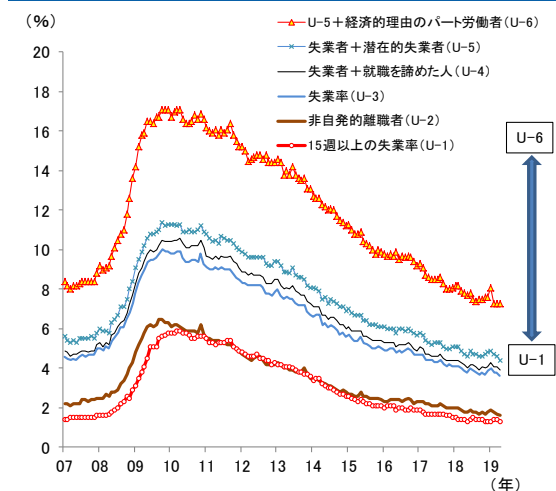
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 定義別失業率



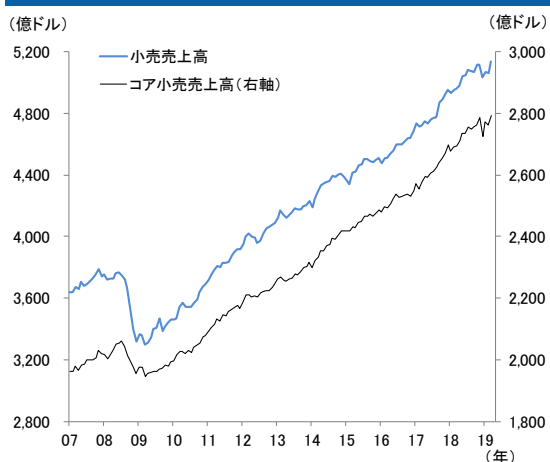
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

<sup>1</sup> 大和総研 経済調査部 橋本政彦「米雇用者数は+26.3万人と想定を上回る伸び」(2019年5月7日)参照。  
[https://www.dir.co.jp/report/research/economics/usa/20190507\\_020776.html](https://www.dir.co.jp/report/research/economics/usa/20190507_020776.html)

## 個人消費

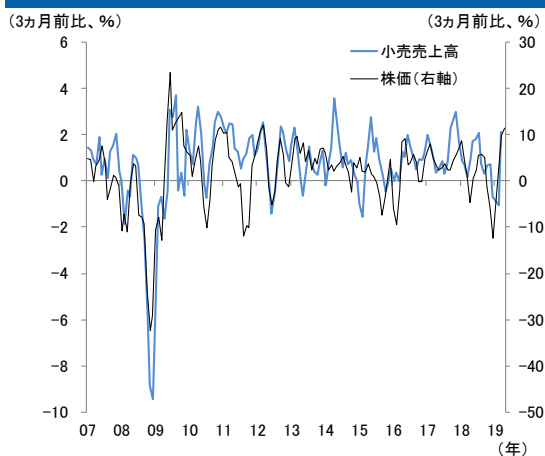
- ◆ 3月の小売売上高は前月比1.6%増加した。2ヵ月ぶりの増加に転じ、増加率は2017年9月以来の大きさとなった。コア小売売上高も同1.0%増加した。
- ◆ 4月の自動車販売台数は前月比6.1%減少し、年率換算で1,639万台であった。堅調な伸びを示した前月から大幅に減少し、2014年10月以来の低水準となった。
- ◆ 4月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは前月の98.4から97.2へと低下した。3ヵ月ぶりの低下となったものの、依然として高水準である。

### 小売売上高の推移



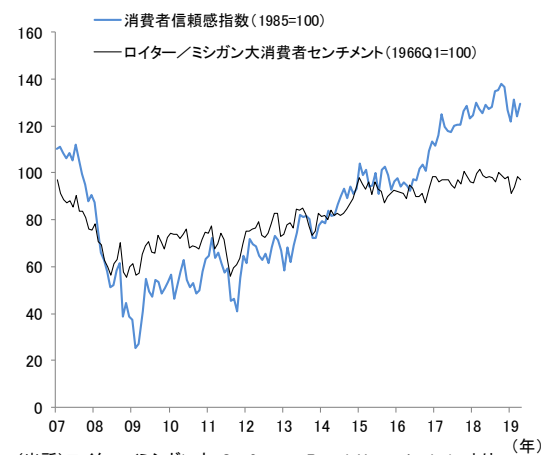
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸、飲食サービスを除く。  
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費と株価



(注)株価はWilshire5000。  
(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費者マインド



(出所)ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

### 自動車販売台数



(出所)Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

## 住宅市場

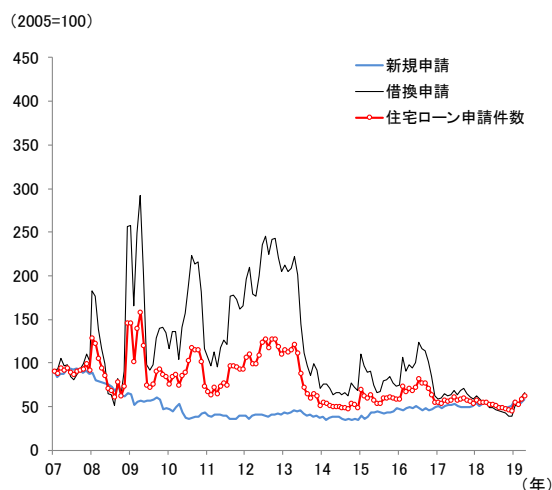
- ◆ 3月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比0.3%減の年率換算113.9万戸であった。一戸建ての着工が振るわず2ヵ月連続で減少し、全体では2017年5月以来の低水準となった。
- ◆ 3月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比4.9%減の年率換算467.0万戸であった。住宅ローンの金利が低下しているものの、手頃な価格の中古住宅不足が影響して2015年11月以来の大幅減となった。
- ◆ 3月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比4.5%増の年率換算69.2万戸となった。住宅ローンの金利の低下や新築住宅価格の頭打ちが寄与し、3ヵ月連続の増加となり、2017年11月以来の高水準となった。
- ◆ 2月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は、前月から0.2%上昇した。住宅価格は上昇基調が続いているものの、上昇率は鈍化傾向にある。

### 住宅販売（一戸建て）



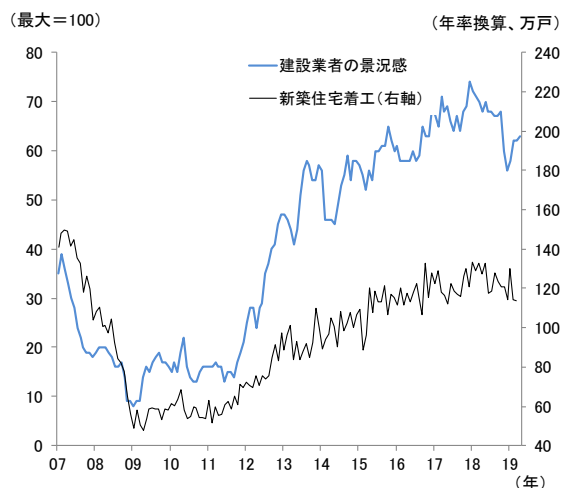
(出所) Census, NAR, Haver Analyticsより大和総研作成

### 住宅ローン申請件数



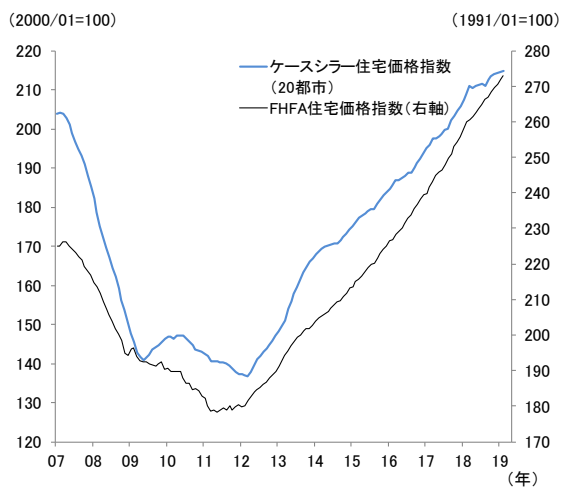
(出所) MBA, Haver Analyticsより大和総研作成

### 住宅着工と建設業者の景況感



(出所) Census, NAHB, Haver Analyticsより大和総研作成

### 住宅価格

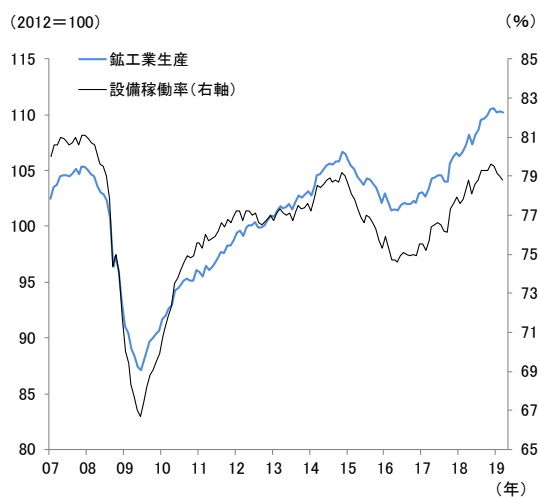


(出所) S&P, FHFA, Haver Analyticsより大和総研作成

## 企業動向

- ◆ 3月の鉱工業生産指数は前月比0.1%低下し、2ヵ月ぶりの低下となった。指数全体の約75%を占める製造業（SICベース）は前月から横ばいであったものの、鉱業の低下が全体を押し下げた。
- ◆ 3月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は前月比1.4%増加し、2018年7月以来の大きな伸びとなった。
- ◆ 4月のISM製造業指数は、前月から2.5%pt低下の52.8%となった。指数の内訳の新規受注や雇用の大幅な低下が押し下げ要因となり、2016年10月以来の低水準となった。非製造業指数は、前月から0.6%pt低下の55.5%となり、2ヵ月連続で減少した。ただし、両指標ともに拡大・縮小の分岐点である50%を上回っての推移が続いている。

### 鉱工業生産と設備稼働率



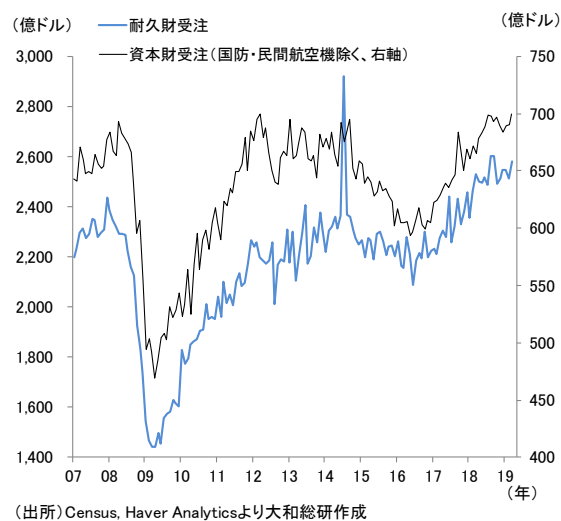
### 企業の景況感



### 製造業の出荷・在庫



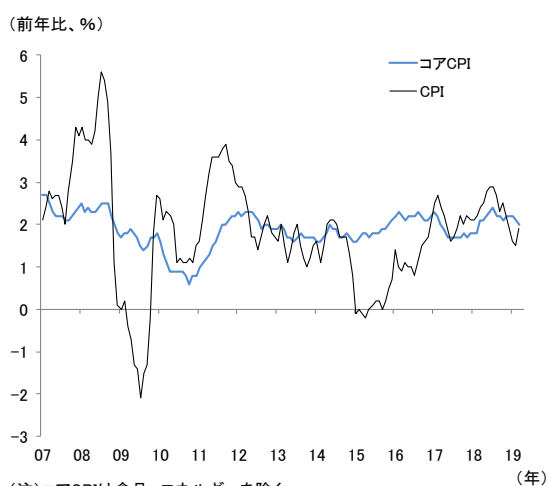
### 耐久財受注



## 物価動向

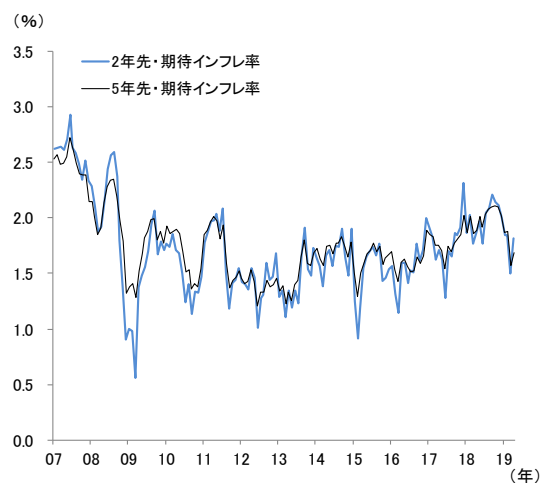
- ◆ 3月のCPI(消費者物価指数)は前年比1.9%上昇し、5ヵ月ぶりに上昇幅が拡大した。一方、コアCPIは同2.0%上昇と、2ヵ月連続で上昇幅が縮小した。
- ◆ 4月の2年先期待インフレ率は1.82%で、5年先期待インフレ率は1.69%と、ともに前月から上昇した。
- ◆ 4月末のWTI原油先物価格は63.91ドル/バレルで、3月末の60.14ドル/バレルから上昇した。米国がイラン産原油の全面禁輸を表明したことなどから価格が高騰し、月末値としては2018年10月以来の高値となった。

### 消費者物価指数



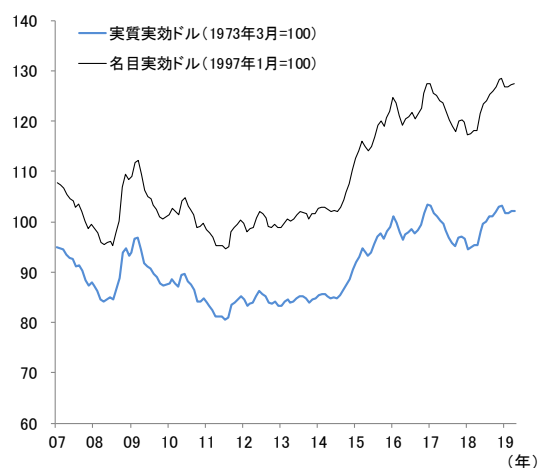
(注)コアCPIは食品、エネルギーを除く。  
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 期待インフレ率



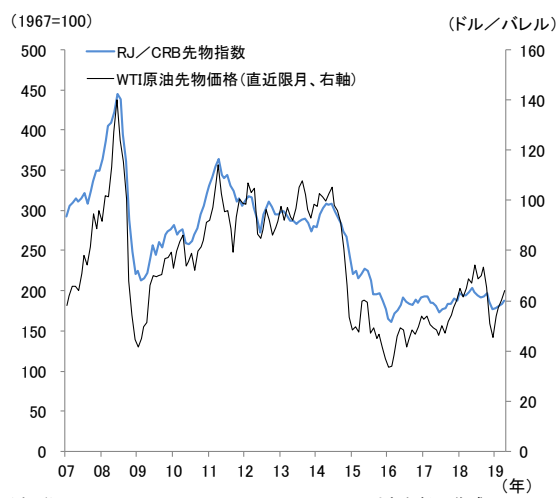
(出所)Cleveland Fed, Haver Analyticsより大和総研作成

### 実効為替レート(ブロード)



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### コモディティ価格

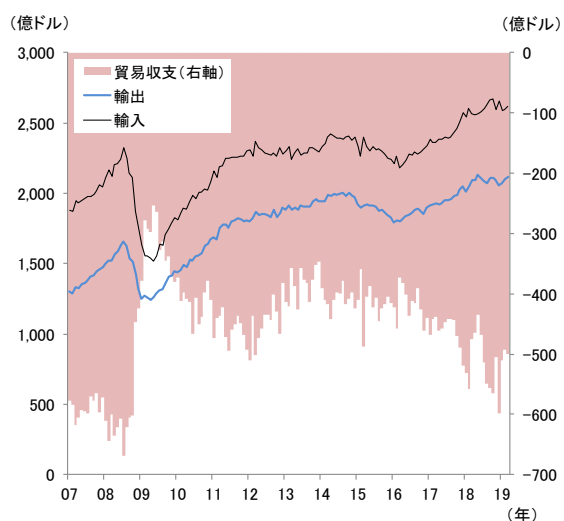


(出所)Wall Street Journal, CRB, Haver Analyticsより大和総研作成

## 輸出入・経常収支

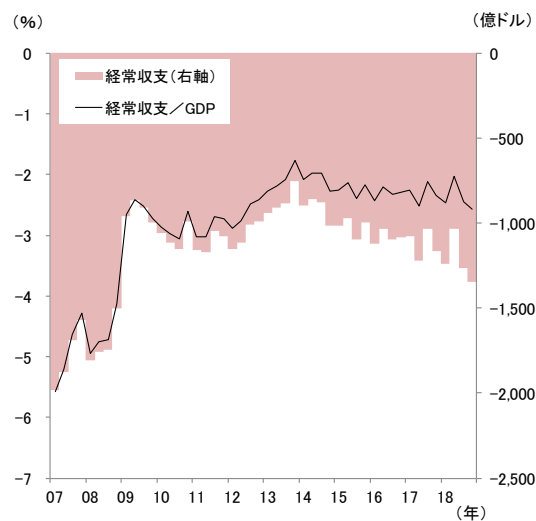
- ◆ 3月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比1.0%増加し、輸入も同1.1%増加した。この結果、貿易赤字は同1.5%増の500億ドルとなった。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では天然ガス液、燃料油などの工業製品・原料が主に増加し、輸入では原油をはじめとする工業製品・原料の増加が目立った。
- ◆ 地域別（財）では、欧州への輸出が前年比1.3%増加したが、日本向けは同0.6%減少し、中国向けは同15.8%減と、8ヵ月連続で二桁台の大幅な減少となった。一方の輸入は、欧州からの輸入が同5.7%増、日本からの輸入も同1.4%増となったものの、中国からの輸入は同18.5%減と3ヵ月連続で減少した。

### 貿易収支動向



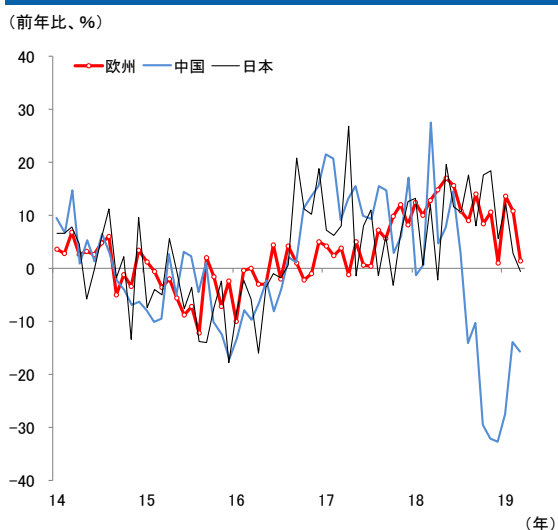
（出所）Census, Haver Analyticsより大和総研作成

### 経常収支の推移



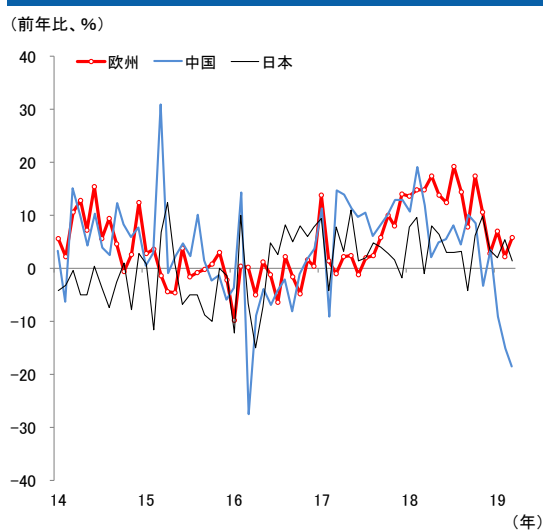
（出所）BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

### 国・地域別輸出動向



（出所）Census, Haver Analyticsより大和総研作成

### 国・地域別輸入動向

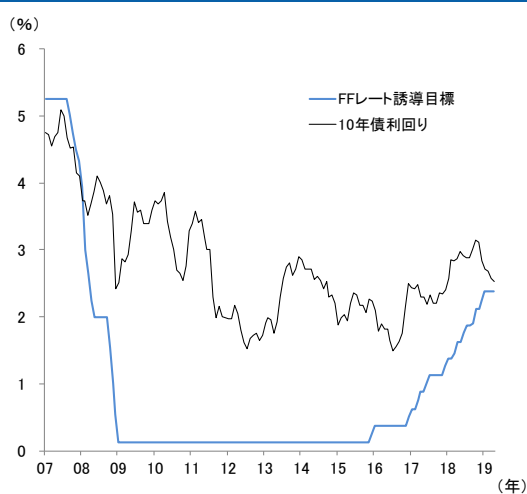


（出所）Census, Haver Analyticsより大和総研作成

## 金融・財政

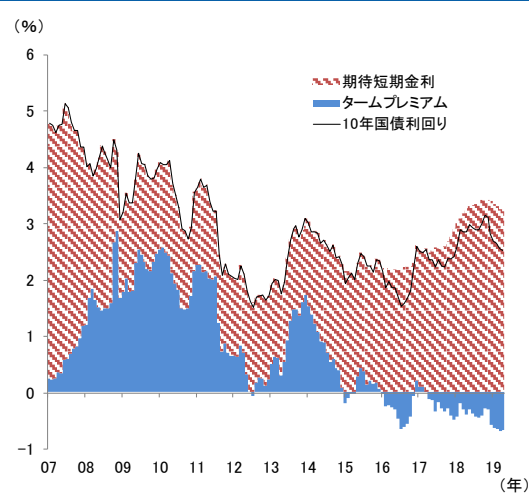
- ◆ 5月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジを2.25-2.50%で据え置くことが決定された。FRBの資産残高は、直近の5月1日の週平均が約3兆9,600億ドルであった。
- ◆ 4月の長期金利（10年債利回り）の月中平均値は2.53%であった。FOMC参加者がハト派的な姿勢を強める中、月中平均値は6ヵ月連続の低下となった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、赤字幅が徐々に拡大している。

### 政策金利・長期金利



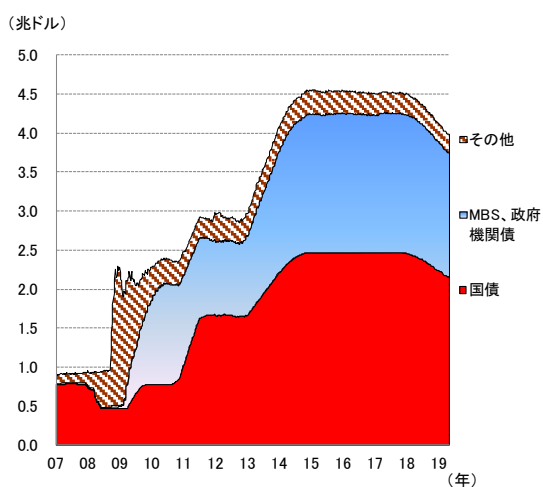
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### タームプレミアム(10年)



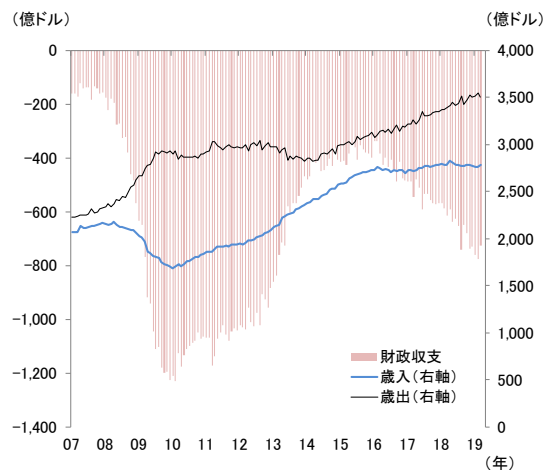
(出所)NY連銀, Haver Analyticsより大和総研作成

### FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### 連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成